

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
令和 6年 5月 20 日	
岐阜県知事 殿	
提出者 住 所 岐阜県大垣市島里一丁目86番地 氏 名 株式会社土屋産業 代表取締役社長 高木 敏満 電話番号 (0584) 89-1838	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	㈱土屋産業 R.M.Cセンター
事業場の所在地	岐阜県大垣市内原一丁目88番地の1
計画期間	令和 6年4月1日 ~ 令和 7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	E:製造業 21:窯業、土石製品製造業
②事業の規模	資本金:1000万円 生コンクリート製造出荷額
③従業員数	9名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	<p>全産業廃棄物発注量に対して、全量を産業廃棄物処分業者に依頼する</p> <div><div>製造・出荷・試験</div><div><div>残コン・戻りコン</div><div>スラッジ固形分</div><div>試験後のコン片</div></div><div>処分業者</div></div>

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

産廃の発生・一時保管

—— (公害防止責任者 産業廃棄物担当者)

自社 (許可番号: 02111108132)

産廃の収集・運搬

① T S U C H I Y A (株) リサイクルセンター

(許可番号: 02121010171)

産廃の処分

② (株) 丸文工業

(許可番号: 02121003146)

③ (株) 研木村

(許可番号: (02121002758)

④ 住友大阪セメント株式会社

(許可番号: (02120000557)

⑤ 有限会社三晃開発

(許可番号: 2121032388)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状

【前年度 ( 令和5年度) 実績】

産業廃棄物の種類 コンクリートくず

排 出 量 4, 229. 89 t

(これまでに実施した取組)

- ・産廃物置場の管理
- ・産廃物排出抑制、適正処置について当工場従業員に周知徹底
- ・コンクリート使用者に対し数量管理の徹底をお願いし残コン、戻りコンの減量を図る

② 計画

【目標】

産業廃棄物の種類 コンクリートくず

排 出 量 4600 t

t

(今後実施する予定の取組)

- ・令和4年度に実施した取組みを継続し、処置量の減量に努める

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状

(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) _____
-----	--

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（                      年度）実績】 —		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】 —		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（                      年度）実績】 —		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	— t	— t
(これまでに実施した取組)			
② 計画	【目標】 —		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	— t	— t

		(今後実施する予定の取組)
--	--	---------------

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（                      年度）実績】 ―		
	産業廃棄物の種類	―	―
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	― t	― t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	―	―
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	― t	― t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（                      令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず	
	全 処 理 委 託 量	4,229.89 t	― t
	優良認定処理業者への処 理 委 託 量	― t	― t
	再生利用業者への処 理 委 託 量	4,229.89 t	― t
	認定熱回収業者への処 理 委 託 量	― t	― t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量	― t	― t

		(これまでに実施した取組) 再生利用できるよう分別して処理委託している。
--	--	---

(第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず	
	全 処 理 委 託 量	4, 600 t	— t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	— t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	4, 600 t	— t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) 今後も同様心掛けて処理委託する。		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。